

YouTube のコメントからみた アイドルグループのメンバー脱退に関するファンの受容分析

畠山真一 *

1 はじめに

アイドル研究は、近年、社会学、ジェンダー研究、メディア論、音楽学、経営学など、多様な立場からの分析が提示されており、極めて活発な研究領域であると言える。

しかし、管見の限り、アイドルファンダムにおける言説をテキストマイニングの手法を用いて分析した研究はごく僅かな例外を除けば存在しない^{*1}。

本論文は、アイドルグループからのメンバー脱退という出来事が、どのように当該グループのファン集団(ファンダム)に受容されていったのかというプロセスをテキストマイニングの観点から分析することを目的としている。

具体的に言えば、近年メンバーの脱退が発生した King & Prince をターゲットとして、その脱退がファン心理にどのような影響を与えたのかという点を YouTube のコメント欄をテキストマイニングを通じて分析する。

2 King & Prince の脱退劇

本節では、King & Prince のメンバーの変遷について述べる。

King & Prince は、2018 年に岩橋玄樹、平野紫耀、岸優太、神宮寺勇太、永瀬廉、高橋海人の 6 名がジャニーズ事務所内で結成したグループである。しかし、同年 10 月に岩橋玄樹が脱退することにより、5 名からなるグループとなった。

2022 年 11 月、5 名のメンバーの内、平野紫耀、岸優太、神宮寺勇太が 2023 年 5 月をもって King & Prince を脱退することがアナウンスされた。この 3 名はジャニーズ事務所退所後、滝沢秀明が設立した TOBE に移籍するとともに Number.i を結成した。残る 2 名のメンバーである永瀬廉と高橋海人は、そのまま King & Prince を継続して運営しており、現在も活動中である。

King & Prince の CD シングルリリース状況についていえば、平野ら 3 名の脱退アナウンス直前の CD シングルは、『TraceTrace』(2022 年 9 月 14 日リリース)であり、脱退アナウンス直後にリリースされた楽曲が『ツキヨミ』(2022 年 11 月 9 日リリース)である。

また、脱退した 3 名による Number.i のデビューシングルは『GOAT』(2024 年 1 月 1 日)である。

* 尚絅大学現代文化学部文化コミュニケーション学科

^{*1} 張(2024)は、中国の SNS である Weibo データを用いて『ラブライブ!』ファンダムの言説分析を行っており、例外的な研究である。

3 MV へのコメント分析

前節で述べた『TraceTrace』、『ツクヨミ』、『GOAT』の3曲について、すべて YouTube に Music Video (以後、MV) が所属事務所からアップロードされており、MV に対するコメント欄も解放されている。

これらの3曲のMVに付けられたコメントは、メンバーの脱退をファンがどのように受け止めたのかを分析する上で、第一次資料を形成する。すなわち、YouTube にアップロードされたMVに付けられているコメント群は、脱退という大きな出来事に直面したファンの感情がアーカイブされたテキストとみなすことができ、インタビュー調査やアンケート調査とは異なり、直接的に当事者(ファン)の思考を辿ることを可能にする資料として有効であると考えられる。

このような推測に基づき、本研究では、『TraceTrace』、『ツクヨミ』、『GOAT』の3曲のMVに付けられたコメントを通じて、メンバーの脱退というファンにとって極めて大きな出来事がどのように受け止められたかを分析していく。

3.1 調査方法とデータの概要

本研究では、YouTube Data API v3 を利用して、当該MVに付けられたコメントデータを取得した^{*2}。本APIで収集できるデータには多様なものがあるが、本研究においては「コメントしたユーザ名」、「コメント日時」、「いいねの数」、「コメントそのもの」を収集した。以下に「TraceTrace」について収集したデータの一部を提示する^{*3}。

表1 TraceTrace への最も古いコメント

ユーザ名	投稿日時	いいね数	コメント
@miyoms-c4d	2022-08-09T06:00:55Z	0	楽しみ
@mf6815	2022-08-09T06:00:55Z	0	楽しみです
@m_315lx	2022-08-09T06:00:50Z	1	に！！
@z2__xl	2022-08-09T06:00:43Z	2	楽しみー！！！！

ここで投稿日時は、末尾のZが示すようにUTCであり、Zの前は秒数を示している。したがって、本調査で取得した最も古いコメントは、UTCで2022年8月9日の6時00分43秒に投稿されたものである(日本時間では、9時間をプラスした15時00分43秒となる)。

それぞれのMVに対して本調査の実施日と取得されたコメント数は表2のとおりである。なお、コメントは調査日の最新コメントから時系列順に取得した。

^{*2} <https://developers.google.com/youtube/v3/>

^{*3} ただし、コメント本体から絵文字を除去している。

表 2 取得されたコメント数

曲名	調査日	コメント数
「TraceTrace」	2025 年 6 月 2 日	22,895 コメント
「ツキヨミ」	2025 年 6 月 5 日	435,146 コメント
「GOAT」	2025 年 6 月 10 日	405,895 コメント

YouTube Data API は、best effort であるため、実行日時によっては、コメントが 10% 前後しか取得できない場合もあった（特に「ツキヨミ」、「GOAT」）。これが、同一日程で調査を行うことができなかった理由である。コメントのタイムスタンプを見る限り、調査時においてはほぼ全件取得できたと考えられるが、確証は得られていない。

3.2 分析方法

このデータに対して、次の 3 つの分析を行った。

- (1) 対数尤度比にもとづく各 MV へのコメント・コーパスの特徴語抽出
- (2) いいね数の順位が高いコメント分析

それぞれ順に説明していく。

3.3 対数尤度比にもとづく各 MV コメントコーパスの特徴語抽出

テキストマイニングにおける特徴語とは、あるコーパス A を別のコーパス B と比較したときに、 A に特徴的に出現するとされる語を指す。テキストマイニングにおける特徴語検出手法として、カイ二乗値、対数尤度比、相互情報量などが使用されるが、本研究ではコーパスサイズが大きいと、低頻度語に対して適切な扱いをする対数尤度比を利用して特徴語を検出した (Dunning, 1993; 寺嶋, 2009)。形態素解析には sudachipy を、辞書として sudachidic-full を用いて名詞を抽出し、3 つのコーパス（「TraceTrace」へのコメント文書集合、「ツキヨミ」へのコメント文書集合、「GOAT」へのコメント文書集合）に対し、一つのコーパスを抜き出し、その他の 2 つのコーパスと比較するという方法で名詞の特徴語検出を実施した。特徴語判定のための最小出現回数は 5 としている。

本調査の結果は次のとおりである（10 位までを記載）^{*4}。

^{*4} 「フォッ」は「フォッ♡」という絵文字付きで用いられる感動詞である。また、「ilys」は、Number.i のファンを表現するジャーンゴンである（ただし、正式には iLYs）。

表3 対数尤度比スコアに基づくランキング

	TraceTrace	ツキヨミ	GOAT
1 位	トレトレ	月夜見	Goat
2 位	最高	キンプリ	goat
3 位	曲	ティアラ	3
4 位	信長	キング	Number.i
5 位	センター	5	I
6 位	公記	Prince	ナンバー
7 位	透明感	クロサギ	ilys
8 位	ビジュ	グループ	フォッ
9 位	MV	ichiban	ゴー
10 位	ドラマ	prince	デビュー曲

「TraceTrace」の特徴語には、この曲がテレビドラマ『新・信長公記〜クラスメイトは戦国武将〜』の主題歌であったことが反映されており、「信長」が4位、「公記」が出現していることが特徴的である。

一方、「ツキヨミ」には「5」という数字が特徴語としてあがっている。これは、先に述べたように King & Prince が、この楽曲まで5名で構成されるアイドルグループであったことがコメントに反映されていると考えられる。すなわち、本楽曲は、5名の構成メンバーでの最後の楽曲であるということをコメントに書き込んだユーザが多かったことを意味していると解釈できる。言い換えれば、ファンが「5人で構成される King & Prince」にこだわりを持っていたことが示唆されるのである。同様に、「ティアラ」という King & Prince の女性ファンを表すジャゴンや、「キンプリ」(King & Prince の略語)、「King」、「Prince」、「ichiban」(2022年にリリースされたアルバム『Made in』のリードトラック)など、King & Prince の歴史やそれを取り巻く状況を象徴するような語が特徴語として検出されている。言い換えれば、楽曲の背景的特質を代表している「クロサギ」よりも、グループとして King & Prince の性質を象徴するような語が特徴語となっているのである。

Number.i のデビューシングルである「GOAT」については、曲のタイトルの大文字・小文字を入れ替えたものが数多く特徴語として検出されるが、「ツキヨミ」と同様に「3」という数字が特徴語としてあがっている。これは、Number.i が King & Prince から脱退した平野紫耀、岸優太、神宮寺勇太の3名から構成されるグループであることの象徴であると解釈できる。すなわち、5名からなる King & Prince から3名の Number.i へという連続性と切断が表出されており、「脱退した3名による新たなグループのスタート」が強調されていると解釈できるのである。

このように、脱退アナウンスを境にコメント欄の機能が変化したことがわかる。アナウンス前の「TraceTrace」では楽曲やパフォーマンスへの評価の場であったのに対し、アナウンス後の「ツキヨミ」や「GOAT」では、ファンがグループの歴史やアイデンティティを語り直し、感情的に意味づける言説空間へと変容していたことが、特徴語の変遷から理解されるのである。

3.4 いいね数の順位が高いコメント分析

続いて、いいね数の順位が高いコメント分析を行う。

それぞれの楽曲について、いいね数が高かったコメントの上位3位は次のとおりである(カッコ内は、YouTube のアカウント名といいね数である。なお、本稿は全角コンマを読点として使用しているが、次のコ

メント一覧ではオリジナルテキストをそのまま使用している)。

TraceTrace

- 1 位「こんな辞めてほしくないと思ったグループ初めて。溢れ出す人柄の良さ、パフォーマンスのすごさ、純粋に応援したくなる。」 (@JS-xg4wq, 3755)
- 2 位「永遠なんて存在しない。けど、キンプリはこの先 10 年、20 年と 5 人で居続けるとってたし、のちにジャニーズを牽引する国民的存在になるんだろうなとも他 G 担ながらに見てて思っていたからこそ、5 年目を迎える前にバラバラになるなんて信じられないし辛い」 (@olqonom, 2896)
- 3 位「最初は顔が良いグループっていう印象だったけど、全員が圧倒的パフォーマンス力を持っているから、今や顔の良さは付属品みたいになってる。もっともっと売れていいグループだと思うし、いずれ令和を代表するグループになると思ってます。」 (@saya1202, 2574)

ツキヨミ

- 1 位「推しのいる楽しさも辛さも教えてくれたのはキンプリが初めてだったよ！！五人を推して後悔なんてしてないし幸せな時間だったよ、頑張ってくれてありがとうって伝えたいし、届いてくれてればいいな、五人に、ここのコメ欄にいるティアラとキンプリを応援したいみんなの思いを。※届いてたね、こちらこそありがとう！！五人まるっとずーっと応援するよ！！」 (@レモン-t8x, 5304)
- 2 位「ここにいるティアラは年齢も地域もバラバラなのに、キンプリを愛する団結力に毎日感動します。そしてたくさんの人に愛されてるキンプリは素晴らしいグループですね。」 (@miyu.2259, 3,644)
- 3 位「キンプリは路線変更ではなく路線拡大しているところが魅力のひとつだと思う！色んなジャンルをこなしていくのは簡単な事じゃない。けど彼らが完璧にしていけるのはやっぱりたくさんの努力と素晴らしい実力があったからだよね！あとこのメンバーだから支えあって来れたんだと思う！そして彼らのパフォーマンスをいずれ世界に繋いで行けたらって今でも願ってる！ファンもメンバー達の色々な姿が見れて嬉しいし、やっぱり私はもっとこのメンバーの進化と一緒に見届けていきたいよ、、、そう思い、微力ながら毎日ここに来ています！！イオサ他化になることで絶対にかしら彼らの未来に繋がると思っています！！同じ気持ちの方ぜひ一緒に頑張ってくださいか！？」 (@河合唯伽 3,549)

GOAT

- 1 位「いつもお世話になっております。北山担の者です。微力ですが御手伝いに参りました。ファミリーは大切な仲間です。」 (@suzu-haru02, 8676)
- 2 位「3 人がこだわって作った作品が世界の人たちに届きますように」 (@ori4007, 7878)
- 3 位「日本人のアイドルが、日本人のクリエイターがつくった、日本で撮影した、とにかく Made in Japan な日本の音楽を世界に届けようとしてるところが全然彼らの目標が曲がってないからほんとに推せる！」 (@129sho97, 7056)

脱退アナウンス直前にリリースされた「TraceTrace」MV に対しては、メンバー脱退もしくは 5 人体制の終焉に対する悲しみがいいね数 1 位と 2 位のコメントによって表現されていると解釈できる。しかし、脱退アナウンス後にリリースされた「ツキヨミ」MV に対しては、悲しみではなくむしろ「今までの活動に対する感謝」がいいね数 1 位と 2 位のコメントによって表現されている。いいね数 1 位の @レモン-t8x のコメントは、2023 年 3 月 7 日に投稿されたものであり、この時点で、ファンダム (ファン共同体) の中で、メンバー脱退に関してある種の納得感が形成されているとともに、ある種の思い出 (ノスタルジー) が集合的に形成されてい

ることを伺わせるという点で極めて興味深い*5。

一方、脱退メンバーによって構成された Number.i のデビューシングルである「GOAT」MV へのいいね数 1 位のコメントは、元 Kis-My-Ft2 メンバーであり、TOBE に移籍後の 2023 年 11 月 17 日にソロデビューした北山宏光ファンからの投稿であるとされている点が注目される。

この事実は、ファンダムが、所属事務所というより大きな枠組み（いわゆる「TOBE ファミリー」）の中で連帯し、互いを支援しあうという新しい関係性が生まれつつあることを示唆している。アーティスト間の絆をファンが可視化し、祝福する行為自体に大きな価値が見出されていると言えよう。

4 おわりに

本研究は、King & Prince のメンバー脱退という出来事に対し、ファンの受容プロセスがどのように変遷したかを YouTube コメントから分析した。

特徴語といいね数の分析を通じて、危機的状況に直面したファンの感情が、当初の「悲しみ」（「TraceTrace」）から、グループの歴史を再解釈する中での「感謝と納得」（「ツキヨミ」）へと変化したこと、そして、さらに脱退メンバーが結成した Number.i が所属する新しい所属事務所内の「新たな連帯と応援」（「GOAT」）へとダイナミックに変容していく過程の一端を実証的に示した。

本研究では、特徴語およびいいね数という観点から分析を与えたが、トピック分析や投稿者集合に関する分析（継続的な投稿者と新規投稿者の集合の推移や大量投稿者の言説分析等）など重要でありながら実施されていない分析が残っている。また、本研究では絵文字を除去をした上で分析を実施したが、ファン感情の多様性を考慮すると、情意的アイコンである絵文字は重要な手がかりとなることは間違いないであろう。このような観点を含みより包括的な分析については別稿に委ねたい。

参考文献

- 田島悠来 (編) (2022). 『アイドルスタディーズ』. 明石書店.
- 寺嶋弘道 (2009). 「日本語教育語彙を選定するための統計的指標－尤度比検定、カイ 2 乗検定、イエーツの補正公式の特徴－」, *Polyglossia* **17**: 71-83
- 張哲源 (2024). 『中国におけるアイドルアニメファン層の研究: 『ラブライブ!』シリーズに関する Weibo オンラインデータの分析』. 法政大学国際文化研究科修士論文. https://hosei.ecats-library.jp/da/repository/00030922/24_thesis_master_22Q8102.pdf よりダウンロード (閲覧日 2025 年 6 月 30 日)
- Dunning, Ted (1993). “Accurate Methods for the Statistics of Surprise and Coincidence,” *Computational Linguistics* **19**(1): 61-75.

*5 先に述べたように、「ツキヨミ」のリリースは 2022 年 11 月 9 日であり、およそ 4 ヶ月で納得感が形成されていることになる。